



読書感想文を書いてみよう

読書感想文ってなあに？

みなさんは、楽しいことがあった時、だれかに話したくなりませんか？「こんなことがあったよ」「〇〇がすごくおもしろかったよ」って・・・

それと同じで、楽しい本を見つけたとき、本を読んですごいなあーって思ったとき、だれかに教えてあげてください。本についてのおしゃべり。それが読書感想文なのです。

本を読んで思ったことを素直に書く！

やだな～感想文。書きたくないよ～、どう書けばいいかわかんないよ～と思っている人。もっと自由に、もっと楽しく書いてみよう。

本を選ぶ

始めから感想文を書くための本を選ぶのではなく、本を読んで感動したことを文章にしてみようと思って書くといいです。

- ★ 今まで読んだ本の中から、「感動した」「すごいと思った」本を選ぶ。
- ★ 好きな本、興味のある本を選ぶ。
- ★ 好きな作家の本をえらぶ。
- ★ 自分の力にあった本をえらぶ。
むずかしすぎて、やさしすぎてダメ
- ★ できるだけいろいろな種類の本の中から選ぶ。
物語の本以外でも感想文は書けます！



メモやふせんを使おう！

げんこうようし

いきなり、原稿用紙に長くじょうずに書こうなんて思わないでね。

メモやふせんに書きたいことを書いておくといいよ。

- ・本の中で、心にのこったところ、すきなところを書いてみよう
- ・気になる言葉や、大切だと感じた文章を書いておこう

メモやふせんを参考にしながら、どんなことを書きたいか考えてみよう。

また、自分も本の中に書いてあったことと同じような体験たいけんをしたことがあったら、そのことも書こう。

文の組み立てを考えよう！

はじめにつぎのようなことを書こう

- 1 だいたいのあらすじ。
- 2 その本を読んだきっかけ。
- 3 読んだあとの最初の印象さいしよ いんしやう かんそう（感想）を短く。

なかの部分はつぎの中から二つくらい選んで書こう

- 1 とくに心に残ったことや場面。
- 2 登場人物とうじやうじんぶつのしたことや考えなどを、自分とくらべる（もし、自分だったら）。
- 3 登場人物の気持ちや行動のうつりかわり。
- 4 作者がつたえたいこと。
- 5 新しく知ったことや、気づいたこと。

おわりに、つぎのようなことを書こう

- 1 本の内容全体をまとめるような感想。
- 2 登場人物の生き方や考え方について、自分とくらべて考えたことや思ったこと。
- 3 これからの自分は、どうしたいか、どうしていったらよいか。

書いた後でもういちど読み直そう！

- 1 字がまちがっていないか、ぬけた字はないか。
- 2 習った漢字を使っているか。
- 3 だんらくに区切って、読みやすくなっているか。

かんせい
完成！

